

たつお

いがらし立青 と考える 暮らしやすい つくば

2016
7月号
July

市民の声を聴き、
誰もが暮らしやすいつくばへ！

My Town
TSUKUBA!

特集

地域を歩き、声を聴く

討議資料



岡嶋 奈美子さん
子育てママサークル主宰
(千現在住)

地域住民のみなさまからのエール
私たちも応援しています
同じ子育て中の五十嵐さん
なら私たちの声も聴いて
くれると期待しています
東京から越して来て7年、小学2
年生と4歳の保育園児がいます。
出産する場所が少ない、保育園に
入れない、育児と仕事を両立する体
制が整っていない、出産後、孤独に
育児している方が多い、発達の相談
もまともに聞いてもらえないなど、
つくばは子育て世代が多い＆子供が
多いわりに子育てしやすい環境では
ないと感じています。
私たちのような子育て中の市民の
声に耳を傾け、具体的な支援策とし
て形にする市政を、五十嵐さんなら
実現してくれると期待しています。
応援しています。



吉原 承治さん
自営業
(大曾根在住)

毎日、地域を
まわっています！



郵便はがき

恐れ入りますが！
52円切手を
お貼りください！

〒305-0032
つくば市竹園2-4-10-205
いがらし立青後援会 青風会 行

あなたのお住まいはどこですか？
○で囲んでください。

- | | |
|------|-------|
| 筑波地区 | 学園地区 |
| 大穂地区 | 谷田部地区 |
| 豊里地区 | 荃崎地区 |
| 桜地区 | |

五十嵐さんは、
地域のすみずみまで目が
届く人ですね
旧大穂町で建設業を営み、約50年
が経ちます。その間研究学園都市の
開発による街の変化を見てきました。
地元集落からは若い人がいなくな
り、新興住宅地には若い家族が増え、
地元小学校も満杯な状態です。学園
地区の教育環境を求め、次世代家族
が移住してしまう傾向が強いですね。
近所総出で神社の草取りなどを行
う「しもり」に集まるのも老人ばか
りなので作業が大変です。
五十嵐さんは日頃から集落の中ま
で入り込み、私たち年寄りの話も熱
心に聞いてくれるんですよ。そうい
う人は是非、つくばの市政を任せたい
もんです。

ホームページ www.igarashitatsu.com

プロフィール

- 1978年 つくば(旧桜村)生まれ、つくば育ち。現在38歳。
- 2002年 並木幼稚園、並木小、並木中、土浦一高を経て筑波大学国際総合学類卒業
中学校時代はサッカーで全国ベスト8、大学時代は少林寺拳法で全日本2位に
- 2003年 ロンドン大学UCL公共政策研究所 修士課程修了 研究助手兼務
- 2004年 つくば市議選 最年少、最多得票当選(1期目)
- 2007年 筑波大学大学院 人文社会科学部研究科修了 博士(国際政治経済学)
- 2008年 つくば市議選で2期連続最多得票当選
いがらしコーチングオフィス設立、(株)コーチ・エイ勤務
- 2010年 NPO法人つくばアグリチャレンジ設立、障害のあるスタッフが働く農場
「ごきげんファーム」を経営
- 2012年 つくば市長選に出馬、次点で落選
家 族：妻・長男(9歳)・次男(7歳) 三男(4歳) 長女(1歳)

所属・役職

- 総合運動公園建設の是非を住民投票で問うつくば市民の会 世話人
- 並木小学校 PTA会長(2014年~15年度)
- 並木児童館 学童クラブ父母会長(2015年度)
- (一社)つくば青年会議所会員、つくば中央ライオンズクラブ会員
- つくば市倫理法人会会員

暮らしやすい、
つくばへ！



メール: info@igarashitatsu.com お気軽にお問い合わせください。

たつお せいふうかい
いがらし立青後援会 青風会

会長 横田 美農夫
〒305-0032 つくば市竹園2-4-10-205 Tel.029-856-4184/Fax.029-856-4185

歩いて、聴いて、考えた

暮らしと政治をつなぐ著書

6月19日(日)に開催された

いがらし立青出版記念パーティー

つくば市で生まれ育ったいがらし立青は、26歳でつくば市議に当選し、2期8年にわたって意欲的に活動してきました。

しかし、2012年の市長選で落選。それから連日、市内を隅々まで辻演説して歩く日々が始まりました。行く先々で寄せられたのは、「どうして保育園に空きがないの?」



「車がないとどこにも行けない」などの悲鳴のような声です。

困っている市民がいるのに、市政はどこを向いているのだろうか?

4年間かけて市内を歩き、見て、聴いて、考えたことを一冊にまとめたのが『あなたのまちの政治は案外、あなたの力でも変えられる』という本です。

6月19日には市内で出版記念パーティーが開催され、約500人が駆けつけ大盛況でした。本を読み「政治は、まさに生活そのものだ」と実感した多くのみなさま。暮らしと政治の距離が一気に縮まっています。

来賓は、鈴木将県会議員、みずほの村市場の長谷川久夫代表、塩田尚市議会議長、久保谷孝夫市議、金子和雄市議、小久保貴史市議、神谷大蔵市議、黒田健祐市議、ヘイズ・ジョン元市議らが出席してくださいました。



4人の子を育てる親として

子育て世代によりそいます

いがらし立青は3男1女の父であり、保育園の送り迎えからお風呂に食事など、夫婦で協力して子育てをしています。また、小学校や児童館、保育園などの活動にも取り組み、子育て世代が抱える問題に、まさに当事者として向き合ってきました。

たとえば待機児童問題。つくば市の公式発表では保育園に205人分の空きがありますが(2016年2月)、潜在的な待機児童は約1000人にのぼります。その裏には、「きょうだいで同じ保育園に入れない」「遠くて送り迎えが大変」といった切実な問題が潜んでいるのです。そうした声をしっかりと聴きながら、みなさまとともに解決策を考えていきます。

若い人が増えると活気があるし、わたしらの暮らしにもハリが出るよ!



自分たちでまちを変えるため 毎日走り、声を聴きます

政治に無関心となる大きな理由は、「自分の声が届かない」と感じてしまうことではないでしょうか?

総合運動公園計画は、まさに市民を無視した政治の極めつけです。

いがらし立青は「住民投票の会」の世話人として奔走。反対票が8割を超えて計画は白紙撤回され、「自分たちのまちを、自分たちで変えられる」という手応えをつかみました。

生活と政治のズレをなくすには、地域の実情を正しく知る必要があります。地域の声を聴くため、走っています。



このたび、本を出しました

五十嵐立青 著

生きやすい、育てやすい、働きやすい環境をつくるためのガイドブック

あなたのまちの

政治は案外、

あなたの力でも変えられる



ディスカヴァー携書刊
1,080円(税込み)



住民みんなが幸せになる いがらし立青の提案

いま各地区で、「若い人がどんどん減ってしまう」という声があがっています。主な原因は、子育て環境が整っていないこと、仕事がないことです。いがらし立青はこうした問題の有効な解決策として、「教育と子育てインフラへの徹底的な投資」を提案しています。

具体的には、学校をつくる、保育園を増やす、学童保育を市内にうまく整備するなど、「教育日本一」の環境づくりを実践します。

地元の会社が学校を建設し、その周囲に家がたくさん建ち、生活の場ができて飲食店や商店や病院ができ、そこで地元の野菜が使われ...と、地域のなかでうまくお金が回るしくみをつくれれば、地元にとくさんの仕事を

が生まれます。そうすれば若い人が地元を離れず、市の税収も増え、子育てや高齢者、障がいのある方などの支援に充分なお金を投入できる。そういう循環を生み出せば、明るい未来が見えてくるでしょう。

大切なのは、何かを大きく変えるのではなく、一歩ずつでも半歩ずつでもいいから前に進んでいくこと。いがらし立青は、つくば市を暮らしやすいまち、幸せを実感できるまちにする努力を続けていきます。

課題や日々の困り事がまちを良くする始まりなのでどんどん聴かせてください!



サポーター募集

いがらし立青応援サポーターになってください。

つくばへのご提案やご要望、いがらし立青への応援メッセージ等をお願いします。

ご住所 〒

お電話

お名前 (フリガナ)

※ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、いがらし立青後援会青風会に関連する活動以外には利用いたしません。